

平成 18 年 12 月 26 日  
 発行 (財)茨城県体育協会  
 〒310-0911 水戸市見和 1-356-2  
 茨城県水戸生涯学習センター分館内  
 TEL 029 (226) 9972  
 FAX 029 (226) 9973  
 E-mail: ibarakiken@japan-sports.or.jp  
 URL: http://www.ibarakisports.or.jp/  
 ※ ホームページでもご覧いただけます。



**第61回 国民体育大会特集**  
**4種目 優勝 天皇杯39位 (784.5点)**

第61回国民体育大会本大会開会式

※写真提供：茨城新聞社



**国民体育大会特集号によせて**

財団法人 茨城県体育協会

会長 角田 芳夫

平素は、本県のスポーツ振興に対し多大なるご支援、ご尽力を賜り、皆様方に厚くお礼申し上げます。

我が国最大のスポーツの祭典である国民体育大会は、各種スポーツの普及及び競技力向上などに大きな影響を与えてまいりました。

今大会「のじぎく兵庫国体」は、震災によって未曾有の被害を受けた兵庫県が、スポーツの祭典としてだけではなく「“ありがとう”心から・ひょうごから」のスローガンのもと、全国から寄せられた温かい震災復興支援への感謝の意を表すとともに、震災から学んだ「人と人との絆」を大切にしたい新たな出会いと交流の場として、心に残る国体となりました。

また、震災復興の過程で培われたボランティア精神をいかし、県民一人ひとりが創る県民総参加による大会であるとともに、夏季・秋季大会の一本化をはじめ、既存施設や県外施設を活用するなど簡素化も図っており、さまざまな工夫をこらした意義深い大会であったと感じております。

さて、第61回国民体育大会では、本県を代表する多くの選手が最大の力を発揮し戦ってくれました。しかし、僅かに及ばず勝利を逃した選手も多く、天皇杯順位において本県が目指す目標から大きく後退する結果となりました。今後の選手強化に対する多くの課題が残されたわけですが、従来のやり方にとらわれず、長期的展望に立った新しい強化策により、今後の大会に向けてより一層の競技力向上に取り組む所存であります。監督・選手並びに関係者の方々におかれましては、より一層のご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



**61回国民体育大会を顧みて**

財団法人 茨城県体育協会

専務理事 柳田 昌秀

第61回国民体育大会は、国体改革の具体的な取り組みとして「大会運営の簡素化・効率化」がはかれ、夏季・秋季大会が一本化となり開催された初めての大会でありました。

さて、本県の天皇杯男女総合成績は、参加選手が奮闘したにもかかわらず、784.5点39位、昨年と比べ137.5点の減で茨城国体以降最も低い順位となってしまいました。

今大会を顧みると、冬季大会ではスピード・スケート競技成年女子により13点、アイスホッケー競技少年で10点を獲得し、天皇杯順位で昨年をふたつ上回る23位という好成绩でスタートしました。しかし、本大会の予選となる関東ブロック大会においては、昨年入賞した団体競技などが激戦区を勝ち進むことができず、通過人数は昨年と比べ101名減の423名となり、大幅な得点減を予想せざるをえない厳しい状況でありました。

本大会では、団体競技において柔道成年女子が2年ぶりの優勝、ゴルフ少年男子・フェンシング成年男子が準優勝、剣道少年女子・卓球成年女子が3位のほか、5競技での入賞がありました。

個人競技では、水泳(競泳)少年女子B 島添紗紀選手・ウエイトリフティング成年男子 坂 祐哉選手・馬術少年 吉澤 彩選手・鶴田一樹選手が優勝、水泳(競泳)成年男子30歳以上 田沢春彦選手・レスリング少年男子 野添泰寛選手・ライフル射撃少年女子 高田麻衣選手が準優勝した他、30種目での入賞がありました。

これらの入賞については、個人の努力はもちろんであります。常日ごろからの各競技団体関係者のご尽力の賜物であり、感謝する次第であります。

ただ全体としては、昨年の順位から大きく後退していることを真摯に受けとめ、これまでの選手強化事業とその成果についての分析を進めるとともに、今後に向けこれまでの選手強化の見直しを考えております。各競技団体におかれましては、選手強化5ヵ年計画とそれに基づいた選手強化の実践について、検証と見直しをお願いいたします。また、小・中・高・一般の連携強化を含めた活動拠点づくりなど、新たな強化策を展開させる必要性を感じております。そのためにも、各競技団体をはじめ市町村体育協会などの更なるご協力をいただき、次年度以降の国体へ向け全力で取り組んでいきたいと考えています。

最後に、大会に参加されました選手監督の皆様には、心から感謝を申し上げるとともに、関係者の皆様のますますのご活躍を祈念申し上げます。

# 【会場及び総合成績】

## 1. 会場

- ・冬季大会（スケート・アイスホッケー・・・北海道）（スキー・・・群馬県）
- ・本大会（兵庫県下29市5町，大阪府豊能郡能勢町，岡山県岡山市）

## 2. 得点

男女総合（天皇杯）成績《得点》 784.5点 【39位】  
 女子総合（皇后杯）成績《得点》 420.0点 【40位】

## 3. 男女総合（天皇杯）得点内訳・女子総合（皇后杯）得点内訳

### 男女総合（天皇杯）得点

大会区分	競技得点	参加点	天皇杯得点	順位
冬季大会	23.0	30.0	53.0	23位
本大会	361.5	370.0	731.5	36位
計	384.5	400.0	784.5	39位

### 女子総合（皇后杯）得点内訳

大会区分	競技得点	参加点	皇后杯得点	順位
冬季大会	13.0	20.0	33.0	19位
本大会	107.0	280.0	387.0	41位
計	120.0	300.0	420.0	40位

## 4. 各季大会競技得点及び競技別順位

### 男女総合成績競技別一覧

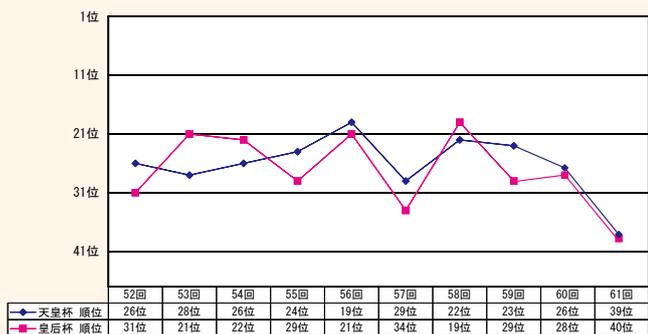
No.	季	競技名	競技得点	競技別順位
1	本	レスリング	41.5	6位
2	本	剣道	30.0	8位
3	本	ゴルフ	21.0	8位
4	本	卓球	16.5	9位
5	本	柔道	24.0	9位
6	冬	アイスホッケー	10.0	10位
7	本	ボート	35.0	11位
8	本	軟式野球	24.0	13位
9	本	フェンシング	21.0	13位
10	本	水泳	38.0	14位
11	本	バスケットボール	12.5	16位
12	本	ハンドボール	12.5	16位
13	本	空手道	8.5	16位
14	本	ライフル射撃	13.0	18位
15	本	馬術	14.0	19位
16	冬	スケート	13.0	21位
17	本	山岳	12.0	24位
18	本	ボクシング	8.0	25位
19	本	ウェイトリフティング	12.0	31位
20	本	陸上競技	18.0	38位
小計			384.5	
		他 20 競技	0	
合計		40 競技	384.5	

### 女子総合成績競技別一覧

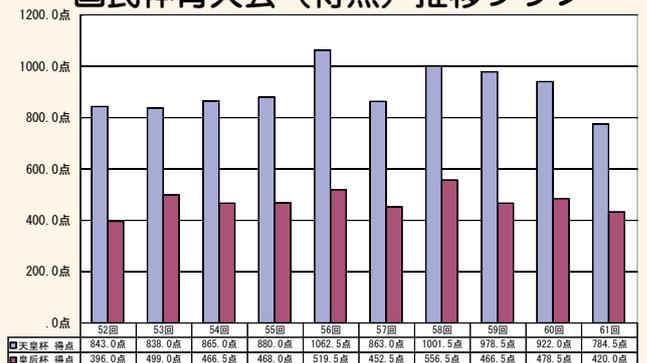
No.	季	競技名	競技得点	競技別順位
1	本	柔道	24.0	3位
2	本	剣道	30.0	4位
3	本	卓球	16.5	6位
4	本	ライフル射撃	11.0	12位
5	本	水泳	19.0	14位
6	本	空手道	2.5	15位
7	冬	スケート	13.0	17位
8	本	陸上競技	4.0	40位
小計			120.0	
		他 22 競技	0	
合計		30 競技	120.0	

## 5. 国民体育大会過去10年間の成績（順位・得点）推移

### 国民体育大会成績（順位）推移グラフ



### 国民体育大会（得点）推移グラフ



# 入賞者一覧

## 《冬季》

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属
4位	スケート(スピード)	成年女子	1500m	大松 由香利	(株)ジャパンモーターズ
4位		成年女子	3000m	大松 由香利	(株)ジャパンモーターズ
7位		成年女子	2000m R	須藤・大松・池田・堀田	茨城選抜
7位	アイスホッケー	少年男子		水戸短期大学附属高校	
8位	スケート(スピード)	成年女子	1000m	堀田 美帆	(国際警備保障株)

## 《本大会》

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属
1位	水泳(競泳)	少年女子 B	背100m	島 添 紗 妃	常総学院高校
1位	ウエイトリフティング	成年男子	69kg級ジャーク	坂 祐 哉	日本大学
1位	馬術	少年	団体障害飛越競技	鶴田・吉澤	真壁高校・常総学院高校
1位	柔道	成年女子	団体	福見・根崎・石山	茨城選抜
2位	水泳(競泳)	成年男子 30歳以上	自50m	田 沢 春 彦	水戸市役所
2位	レスリング	少年男子	グレコ74kg級	野 添 泰 寛	霞ヶ浦高校
2位	フェンシング	成年男子	団体	永野広・坂本・広瀬	茨城選抜
2位	ライフル射撃	少年女子	BRS40JW	高 田 麻 衣	竜ヶ崎第一高校
2位	ゴルフ	少年男子	団体	永野, 前栗蔵, 大槻	茨城選抜
3位	陸上競技	少年男子 A	110mH	高 野 佑 也	土浦第三高校
3位	陸上競技	少年男子 A	砲丸投	辻 明 宏	竹園高校
3位	水泳(飛込)	成年女子	飛板飛込	田 辺 佐 央 理	日本大学
3位	水泳(飛込)	少年男子	高飛込	大 内 嘉 之	取手第一高校
3位	ボクシング	成年男子	フライ級	大 平 直 樹	東京農業大学
3位	レスリング	少年男子	フリー55kg級	小 俣 涼 平	霞ヶ浦高校
3位	レスリング	少年男子	フリー66kg級	生 天 目 達 也	霞ヶ浦高校
3位	レスリング	少年男子	フリー84kg級	竹 内 寿 夫	霞ヶ浦高校
3位	レスリング	少年男子	グレコ60kg級	入 江 和 久	霞ヶ浦高校
3位	卓球	成年女子	団体	野中・島田・馮	茨城選抜
3位	剣道	少年女子	団体	鈴木, 細谷, 金井, 大久保, 船岡	茨城選抜
3位	空手道	少年男子	組手	飯 村 吏 毅 哉	東洋大学附属牛久高校
4位	馬術	少年	ダービー競技	吉 澤 彩	常総学院高校
5位	陸上競技	少年女子 B	100mH	雨 谷 葉 月	土浦湖北高校
5位	水泳(競泳)	成年男子 30歳以上	200mメドレーリレー	茨 城 選 抜	
5位	水泳(競泳)	少年女子 B	200m個人メドレー	加 藤 瑞 樹	岩瀬日大高校
5位	ボート	少年男子	舵手つきオドルブル	磯山・根本・橋本・金塚・村田	潮来高校
5位	ボクシング	成年男子	ライトウェルター級	藤 村 直 人	日本体育大学
5位	バスケットボール	少年男子		茨 城 選 抜	
5位	レスリング	成年男子	フリー74kg級	奈良部 嘉 明	山梨学院大学
5位	レスリング	成年男子	フリー96kg級	小 暮 僚 太	山梨学院大学
5位	レスリング	成年男子	グレコ66kg級	森 川 一 樹	山梨学院大学
5位	レスリング	少年男子	フリー50kg級	水 越 智 也	霞ヶ浦高校
5位	レスリング	少年男子	フリー120kg級	森 内 翔 馬	霞ヶ浦高校
5位	ハンドボール	少年男子	団体	藤代紫水高校	
5位	山岳	成年男子	団体(クライミング)	広 島 ・ 藤 枝	茨城選抜
5位	空手道	少年女子	形	深 作 世 里 乃	水城高校
6位	ボート	成年男子	舵手つきフォア	佐藤・蜂谷・内山・萩野・兼平	茨城選抜
6位	軟式野球	成年	団体	オ ー ル 東 海	
6位	ライフル射撃	少年女子	10mS20JW	長 堀 礼 奈	下館第一高校
7位	陸上競技	少年男子 B	110mH	岩 科 伶	土浦湖北高校
7位	水泳(競泳)	成年男子 30歳以上	背50m	梶 田 耕 生	東京海上日動火災(株)
7位	ウエイトリフティング	少年男子	69kg級ジャーク	鶴 井 亮 太	石岡第一高校
7位	ウエイトリフティング	少年男子	77kg級ジャーク	加 勢 知 寛	磯原高校
7位	ライフル射撃	成年男子	10MS60M	高 中 宏 晃	慶應義塾大学
8位	水泳(競泳)	少年女子 B	200mリレー	茨 城 選 抜	
8位	馬術	少年	標準障害飛越競技	吉 澤 彩	常総学院高校
8位	ライフル射撃	成年女子	BRS40W	鈴 木 礼 子	埼玉大学

# 茨城県選手団成績（天皇杯・皇后杯）第61・60・59回比較表

第61回冬季大会・・・<sup>スキー</sup>群馬県・<sup>スケート</sup>北海道・<sup>アイスホッケー</sup>北海道 本大会・・・兵庫県 他  
 第60回冬季大会・・・岩手県・山梨県・東京都 夏・秋季大会・・・岡山県  
 第59回冬季大会・・・山形県・青森県・青森県 夏・秋季大会・・・埼玉県

## <天皇杯得点一覧>

## <皇后杯得点一覧>

	競技名	61回	61・60 比較増減	60回	59回
冬季大会	スケート	13.0	-6.0	19.0	0.0
	スキー	0.0	0.0	0.0	0.0
	アイスホッケー	10.0	10.0	0.0	30.0
	競技得点小計	23.0	4.0	19.0	30.0
	参加点	30.0		30.0	30.0
	冬季大会得点	53.0	4.0	49.0	60.0
	冬季大会順位	23位	2位	25位	21位
	本大会	陸上	18.0	-29.0	47.0
水泳		38.0	-20.0	58.0	89.0
サッカー		-	0.0	0.0	0.0
テニス		0.0	-15.0	15.0	6.0
ボート		35.0	20.0	15.0	0.0
ホッケー		-	-	-	-
ボクシング		8.0	-21.5	29.5	18.0
バレーボール		0.0	-17.5	17.5	0.0
体操		0.0	0.0	0.0	0.0
バスケットボール		12.5	-12.5	25.0	0.0
レスリング		41.5	8.0	33.5	47.5
セーリング		0.0	0.0	0.0	12.0
ウェイトリフティング		12.0	3.0	9.0	9.0
ハンドボール		12.5	12.5	0.0	35.0
自転車		0.0	-3.0	3.0	18.0
ソフトテニス		0.0	0.0	0.0	0.0
卓球		16.5	0.0	16.5	7.5
軟式野球		24.0	-56.0	80.0	-
相撲		0.0	0.0	0.0	0.0
馬術		14.0	10.0	4.0	0.0
フェンシング		21.0	21.0	0.0	15.0
柔道		24.0	-17.0	41.0	24.0
ソフトボール		-	-	-	-
バドミントン		0.0	0.0	0.0	0.0
弓道		0.0	0.0	0.0	45.0
ライフル射撃		13.0	-9.0	22.0	20.0
剣道		30.0	5.0	25.0	12.5
ラグビーフットボール		-	-12.0	12.0	44.0
山岳		12.0	9.0	3.0	39.0
カヌー		0.0	0.0	0.0	0.0
アーチェリー		-	-	-	0.0
空手道		8.5	-5.5	14.0	5.0
銃剣道		0.0	0.0	0.0	0.0
クレー射撃		0.0	-9.0	9.0	24.0
なぎなた		0.0	0.0	0.0	0.0
ボウリング		-	0.0	0.0	3.0
ゴルフ		21.0	-3.0	24.0	28.5
競技得点小計		361.5	-141.5	503.0	548.5
参加点		370.0	90.0	280.0	310.0
本大会得点		731.5	-51.5	783.0	858.5
本大会順位		36位	-16位	20位	18位
冬・本大会競技得点合計		384.5	-137.5	522.0	578.5
参加点		400.0	0.0	400.0	400.0
総合得点		784.5	-137.5	922.0	978.5
総合順位		39位	-13位	26位	23位

	競技名	61回	61・60 比較増減	60回	59回
冬季大会	スケート	13.0	-6.0	19.0	0.0
	スキー	0.0	0.0	0.0	0.0
	競技得点小計	13.0	-6.0	19.0	0.0
	参加点	20.0		20.0	20.0
	冬季大会得点	33.0	-6.0	39.0	20.0
	冬季大会順位	19位	0位	19位	25位
	本大会	陸上	4.0	-8.0	12.0
水泳		19.0	-6.0	25.0	45.0
サッカー		-	-	-	-
テニス		0.0	0.0	0.0	6.0
ボート		-	0.0	0.0	0.0
ホッケー		-	-	-	-
バレーボール		-	-17.5	17.5	-
体操		0.0	0.0	0.0	0.0
バスケットボール		0.0	-12.5	12.5	0.0
セーリング		0.0	0.0	0.0	12.0
ハンドボール		0.0	0.0	0.0	0.0
ソフトテニス		0.0	0.0	0.0	0.0
卓球		16.5	0.0	16.5	7.5
馬術		0.0	0.0	0.0	0.0
フェンシング		-	-	-	-
柔道		24.0	-4.5	28.5	24.0
ソフトボール		-	-	-	-
バドミントン		0.0	0.0	0.0	0.0
弓道		-	-	-	24.0
ライフル射撃		11.0	-10.0	21.0	7.0
剣道		30.0	17.5	12.5	0.0
山岳		-	0.0	0.0	21.0
カヌー		0.0	0.0	0.0	0.0
アーチェリー		-	-	-	-
空手道		2.5	-11.5	14.0	5.0
なぎなた		0.0	0.0	0.0	0.0
ボウリング		-	0.0	0.0	0.0
ゴルフ		0.0	0.0	0.0	-
競技得点小計		107.0	-52.5	159.5	166.5
参加点		280.0	60.0	220.0	220.0
本大会得点		387.0	7.5	379.5	386.5
本大会順位		41位	-14位	27位	27位
冬・本大会競技得点合計		120.0	-58.5	178.5	166.5
参加点		300.0	0.0	300.0	300.0
総合得点		420.0	-58.5	478.5	466.5
総合順位		40位	-12位	28位	29位

- は関東ブロック大会不通過

※第60回大会テニス競技・福井県成年女子チームの成績を見直すことに伴い茨城県の総合順位が27位から26位に変更になりました。

# 本県選手団ダイジェスト ①

## 《冬季大会・北海道 平成18年1月28日～2月1日》



スケート競技（スピード）  
（成年女子：2000mリレー）  
池田真衣、堀田美帆、須藤真悠、  
大松由香利選手  
昨年を上回る事は出来なかつたが、チームワークの良さで13点を得ることが出来た。選手たちは良くやってくれた。  
（久野 篤監督）

※写真提供：茨城新聞社



## 《冬季大会・群馬県 平成18年2月19日～2月22日》

アイスホッケー競技（少年男子）

埼玉の分厚い攻撃に対し、守りを固めてカウンターを狙う作戦は、序盤機能した。好セーブを連発したGKの高橋には合格点を与えられる。今大会、満足した結果は得られなかったが、この経験を次の国体に活かしたい。（吉澤 忠監督）

※写真提供：茨城新聞社



スキー競技（激励の集い 選手宣誓：岡本岳士選手）

高校生最後の国体に、入賞を目指して挑んだ。結果は、課題が多く残り納得のいかないレースだったけれども、今後に繋がる良い経験ができたと思う。（岡本選手）

## 《本大会・兵庫県 平成18年9月30日～10月10日》

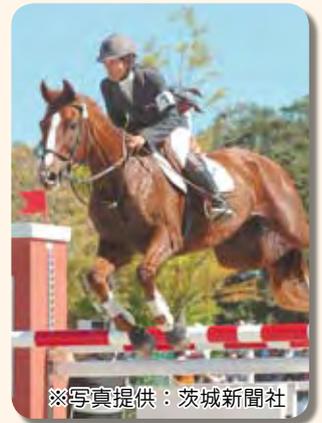


※写真提供：茨城新聞社

開会式を前に、恒例の激励の集いで、本県選手団が健闘を誓い合った。角田団長を囲み勝ちどきを上げた一場面です。



※写真提供：茨城新聞社



※写真提供：茨城新聞社

馬術競技（少年：団体障害飛越競技第1位）鶴田一樹、吉澤 彩選手  
21年ぶりに少年団体障害飛越競技で優勝、感激で胸がふるえました。この感動を今後の人生に役立てたいと思います。（鶴田選手）  
初めての国体で優勝することができ、とても嬉しかったです。来年は妹（翼）と一緒に優勝目指して頑張ります。（吉澤選手）



※写真提供：茨城新聞社

ウェイトリフティング競技

（成年男子：69kg級クリーン&ジャーク第1位）坂 祐哉選手  
去年の国体ではクリーン&ジャーク種目で3位という結果だったが、今年の国体は優勝できてうれしかった。スナッチ種目でも優勝できるように頑張りたい。（坂 選手）



※写真提供：茨城新聞社

柔道競技

（成年女子：団体第1位）  
福見友子、根崎裕子、  
石山麻弥選手  
仲間との「信頼」によって優勝することができました。皆様からの多大なご指導ご声援に感謝申し上げます。（根崎選手）

# 本県選手団ダイジェスト ②

《本大会・兵庫県平成18年9月30日～10月10日》



水泳競技  
 (少年女子:100m背泳ぎ第1位)  
 島添紗妃選手  
 「ヨーイ！」この瞬間、気持ちが頂点に高まり、スタートの合図とともに私は泳ぎました。親や友達の応援をいっぱいもらった私。「絶対、ベストを出すぞ！」という気持ちで泳ぎました。どの大会でもみんなが応援してくれているという一番の励みを忘れずに、今後の大会でも良い成績を残していきたいと思えます。応援してくださった皆さん、有り難うございました。(島添選手)

※写真提供：茨城新聞社



水泳飛込競技  
 (少年男子:高飛込第3位)  
 大内嘉之選手  
 怪我とそれによる練習不足で不安はありましたが、自分を信じた結果表彰台に上ることが出来ました。(大内選手)

※写真提供：茨城新聞社



ゴルフ競技(少年男子:団体第2位) 前栗歳俊太, 永野竜太郎, 大槻智春選手  
 国体には、高校3年間出場させていただき感謝しています。今年は2連覇を目指していたのですが自分の力を出しきれず2位になって悔しかったです。(永野選手)

※写真提供：茨城新聞社



ライフル射撃競技  
 (少年女子:BRS40JW第2位)  
 高田麻衣選手  
 2年連続で準優勝できたのは、応援支えてくれた茨城県の皆様のおかげです。ありがとうございます。来年は優勝目指して頑張ります。(高田選手)



レスリング競技(少年男子:グレコ74kg級第2位) 野添泰寛選手  
 小学3年生から始めたレスリング人生の節目として、高校生最後の国体で準優勝できた事は最高の喜びです。(野添選手)

※写真提供：茨城新聞社



フェンシング(成年男子:サーブル団体第2位)  
 広瀬陽一朗, 坂本雄右, 永野広輔選手 永野義秀監督兼選手  
 サーブル準優勝という結果には、選手一同とても満足しております。学生選手たちが本大会前日まで行われた、関東学生選手権の勢いをそのまま発揮できた事が良い結果につながったと思っています。今後も優勝を目指し、選手一同よりいっそう練習に励みたいと思います。(永野監督兼選手)



剣道競技(少年女子:団体第3位)  
 鈴木 瞳, 細谷 碧, 船岡春香, 大久保香里, 金井若葉選手  
 夢叶わずも三位決定戦は絶賛の内容、笑顔輝く堂々の三位であった。(塚本浩一監督)



陸上競技  
 (少年男子:110mハードル第3位)  
 高野佑也選手  
 無心でスタートラインに立ち、14秒という短い時間の中に3年間の練習の成果を発揮できました。(高野選手)

※写真提供：茨城新聞社

## 本県選手団ダイジェスト ③

《本大会・兵庫県・平成18年9月30日～10月10日》



空手道競技  
(少年男子：組手第3位)  
飯村史毅哉選手  
インターハイ3位、国体3位、最高の結果には大満足。でも、最後の最後まで勝者でいたかったのは本音です。大学で頂点を目指します。(飯村選手)

※写真提供：茨城新聞社



帯同ドクターには国体開催期間中、茨城県選手のコンディショニングをサポートしていただきました。

《国体関東ブロック大会・栃木県 平成18年5月21日～7月27日》



カヌー競技(女子スラローム、K-1)木村小春選手  
関東ブロック大会では、自分の強みである直線での速さを生かし、3位で通過することが出来ました。しかし、国体では速く、激しい流れに翻弄されてしまい、自分の実力不足を思い知りました。この経験を今後の練習に生かしていきたいと思います。(木村選手)



ソフトボール競技(少年女子)  
関東ブロック予選、1勝2敗で惜しくも国体出場ならず。次年度はこの悔しさを忘れず、少年女子チームの本大会出場を目指す。(高野 敦監督)



ラグビーフットボール競技(成年男子)  
1回戦を快勝し、2年連続で代表決定戦へ進出できたことは、着実に力を付けている証である。今後も精進したい。(河越一郎コーチ)



ボクシング競技(成年男子：ライトウェルター級)藤村直人選手  
昨年の関東ブロック大会では、なにもすることができずに1回戦負けでしたが、今回は決勝まで進むことができ、自信につながりました。来年の大会にむけ、優勝を目指し、日々努力していきたいと思います。(藤村選手)

スポーツ・文化・ボランティア活動などの  
団体活動に最適な保険です。

ぼくらの  
強い味の  
笑顔の  
方願の  
!!

# 1000万人のガンバリサポート!! スポーツ安全保険



傷害保険

賠償責任保険

共済見舞金

5名以上の団体で  
ご加入ください

対象となる事故 ●グループ活動中の事故 ●往復中の事故

保険期間 平成18年4月1日午前0時より翌年3月31日午後12時まで(申込受付は平成18年3月から)

団体	加入区分	掛金 (1人年額)	対象範囲	保険金額					共済見舞金
				傷害保険				賠償責任保険 (支払限度額)	
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日につき)	通院 (1日につき)		
子どもの団体	A	500円	中学生以下の子ども スポーツ活動を行わない大人 (高校生以上)	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円 (各免責金額1,000円)	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 160万円
	AW子ども ライオン (中学生以下の方が ご加入できます)	1,050円	中学生以下の子ども	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償合算 1事故 500万円を加算	対象となりません
	AC	1,000円	A,AW等の子どもの指導・ 支援として一緒にスポーツ 活動を行う大人(高校生以上)	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円 (各免責金額1,000円)	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 160万円
	C	1,500円	団体活動中とその往復中 (学校管理下を除く。)	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
大人の団体	A	500円	高校生以上の文化活動団体	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	B	800円	老人クラブなどの団体	600万円	900万円	1,800円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円 (各免責金額1,000円)	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 160万円
	C	1,500円	高校生以上のスポーツ活動団体	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	D	9,000円	危険度の高いスポーツ活動団体	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

財団法人 **スポーツ安全協会** 茨城県支部 (茨城県体育協会内)

〒310-0911 水戸市見和1-356-2 茨城県水戸生涯学習センター分館 TEL 029-300-4710 電話受付時間: 午前8時30分~午後5時(土、日、祝日を除く。)

○加入依頼書は、常陽銀行各支店の窓口、各市町村教育委員会にあります。

保険の詳しい内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、FAXでも受け付けております。0120-104442 (FAX専用)

〈共同保険会社〉 あいおい損害 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 ニッセイ同和損害 日本興亜損害 富士火災 三井住友海上  
保険については東京海上日動を幹事会社として、上記損害保険会社10社との共同保険となっております。(2006年4月予定)